

2021年(令和3年)10月15日(金曜日)

TechEyesOnline

HOME PAGE

検索

Q

ログイン

新規登録



「使い方」の検索結果: 20件

横河レンタ・リースは、顧客の購買行動に合わせた自社コンテンツを中心のマーケティング戦略を強化している。計測器の情報サイト「テックアイズオンライン」(TEO)は、独自企画で執筆・編集も内製。技術者を中心に読者を増やし、2020年度のページビュー(PV)は前年比1.5倍で業界内の認知度も高まっている。

同社がマーケティング本部を立ち上げたのは2019年6月。従来の同社の営業は「足で稼ぐ」やり方。展示会リストを営業職員と共有し、イベント出展

やメールマガ配信を行っていったが、各活動の連携が乏しく、必ずしも次の展開につなげられない限界もあった。

顧客の購買意識や行動は年々変化。製品機

能の高度化で利用目的に合致した正確な情報を得るニーズがますます高まるが、「情報過多」で返って本当に必要な情報にたどり着くのが困難な状況でもある。

同社が力を入れるのは、ターゲティングによる提供コンテンツの選別。企業サイトでは、商品やサービスの内容、導入事例など企業ブランドを前面に出す一方、TEOはあえて横河色を薄める。マーケティング本部の内田陽子本部長は「測定器メーカーに関するものや、ユーチャーが求めれる情報を提供して間接

な、ユーザーと知り合った」と語る。『ユーチャーと知り合う』こと

を重視した」と狙いを

DFにして掲載する。DFとして、基礎知識に関する情報発信が好評

する。テックアイズオンライン。自分が長年使う計測器の仕様を知

りたい人が想定外に多く、人気を集める。中古品を求める計測

器ユーザーも少なくない。サイトでは中古データーラーとつなぐマッ

横河レンタ・リース

デジタルマーケ戦略強化 独自コンテンツでPV増加

電波新聞

市を開催も手掛ける。TEOのPVは月間20万、会員数は2万500人に達する。コンテンツが蓄積し始め「継続的に取引できる関係性の構築」を図る。誘導の先は型名や品名、メーカー名を入れてレンタル商品を検索し、見積もり依頼までできる商品検索サイ

トだ。TEOは顧客接点の拡大のため17年に開始。事業推進本部の稻葉智基本部長は「レンタルビジネスだけでは

特に意識したのは幅広いメーカーの製品を扱うマルチベンダーの立ち位置。レンタル会社ならではのサービスとして、基礎知識に関する情報発信が好評

する。ニア無線やラジオ製

ニアとなるケースが多

く、入社時点でおシロ

は使えるのが当たり

前。今はソフトウェア

中心の学習が主で、測

定器を使わないまま就

職する人が非常に多

い。そこを私たちのコ

ンテンツが補強できれ

ば」と話している。